

Syllabus Id	332
Subject Id	770
作成年月日	50121
授業科目名	日本語
担当教員名	高澤啓子
対象クラス	4年生留学生
単位数	2高専単位
必修 / 選択	必修
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	留学生選択教室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

主要教科目でない場合には形式自由

中級後半日本語終了

学習・教育目標	Weight	目標	
		A	広い視野から社会を理解する能力
		B	工業技術を学ぶ上で基礎となる知識・能力
		C	国際的に通用するコミュニケーション能力の基礎及び異文化を理
		D	積極的に新しい知見を求め、様々な手段を通して必要な情報を収
	E	社会で活躍できる心身の健康を維持、増進する力および豊かな感性と表現力	
(f) 日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力			

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

主要教科目でない場合には形式自由

1. 学術的文章でよく使われる書きことばの文体や表現、文字や各種記号の書き方など、文章表現に必要な基本事
2. レポートや学術論文などの論説文を読むのに必要な文法知識、構造に関する知識などを学び、各自の専門分野

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	作文の基本	文字、記号、文体、表現	
第2回	書きことばの特徴	『異文化適応』	
第3回	課題の提示	論文の構成要素	
第4回	話題とメインアイ	『いじめ』	
第5回	目的の提示	序論の構成要素	
第6回	アウトライン	『衝動買いを誘導する』	
第7回	前期中間試験	まとめ	×
第8回	定義と分類	本論の構成要素(1) 定義・分類・選択	
第9回	文章構成	『ビデオカメラの人間工学』	
第10回	図表の提示	本論の構成要素(2) 図表・数値	

第11回	論の展開	『多様化の中のテレビ』	
第12回	変化の形容	本論の構成要素(3) 進行・判明事項の指摘	
第13回	事実と考え	『フリーター』	
第14回	対比と比較	本論の構成要素(4) 対比・比較	
第15回	前期期末試験	まとめ	×
第16回	論の展開	『安全でおいしい水を飲むために』	
第17回	原因の考察	本論の構成要素(5) 予測	
第18回	引用	『「まじめという言葉」』	
第19回	列挙	本論の構成要素(6) 存在	
第20回	要約	『がん告知』	
第21回	引用	本論の構成要素(7) 論点の提示、引用	
第22回	後期中間試験	まとめ	×
第23回	論文を読む	全体構成、序論	
第24回	同意と反論	本論の構成要素(8) 同意・反論、文献の記述	
第25回	論文を読む	本論その1	
第26回	帰結	本文の構成要素(9) 帰結、換言、補足	
第27回	論文を読む	本論その2	
第28回	結論の提示	結論の構成要素	
第29回	論文を読む	結論	
第30回	後期末試験	まとめ	×

課題

出典:教科書章末問題

提出期限:出題した次の週

提出場所:授業開始直後の教室、

オフィスアワー:

評価方法と基準

評価方法: **主要教科目でない場合には形式自由**

目標とした能力が身についたかどうかを、質疑応答、課題、定期試験で確認する。

評価基準:

前期試験30%、後期試験30%、課題レポート30%、授業態度・欠席減点10%

教科書等	『留学生の日本語』 論文読解編 論文作成編、アカデミック・ジャパニーズ研究会、アルク、各
先修科目	
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。